

第 210 回 日本経営倫理学会・理念哲学研究部会例会報告

宇佐神 正明

第 210 回例会 7月25日(月)18:00~20:00 学士会館308号室

出席:佐藤、新川、辻井、村山、望月、宇佐神

欠席連絡:山本、古山、緒賀、井上

1) 8 月例会以降の予定について

8月22日(月)暑気払い5時半(サイゼリア上野広小路店、鈴木2F)連絡(宇)

9月26日(月)18:00~20:00 学士会館308号室 連絡担当(宇)

10月24日(月)18:00~20:00 学士会館308号室 連絡担当(村)

11月28日(月)18:00~20:00 学士会館308号室 連絡担当(村)

12月19日(月)18:00~20:00 学士会館308号室 連絡担当(村)

2) 望月「理念哲学部会編『21世紀の経営倫理』目次案」の進行状況の確認と検討。

了解事項:各項目に関し、8000~10000字を目安に作成することを確認。

なお、9月例会で、意見交換を通してその全体像の共有を目指す。

3) 7月25日は、『21世紀の経営倫理』の原稿に関し、古山氏の原稿を巡って、村山氏の報告をもとに、意見の交換がなされた。

その詳細や要望については、村山氏より、古山氏に伝えられる予定。

宇佐神:前回に追加して、20世紀における良心論の展開として、G.エーベリングが挙げられた。また、E.H.エリクソンの図式の(D:人間の力)の誠実(Fidelity)以降が良心の展開として捉えられうることが示唆されるとともに、カルヴァンにおいて良心と誠実が同じ意味を有していたとの、P.レーマンの指摘や、日本人における「誠実」の意味が検討の対象として提示された(相良亨『誠実と日本人』)。

4) 今後の在り方等について自由な意見交換がなされた。

出席者全員の声が聴かれるような運営が期待される。

8月:アベノミックス等を巡って、『安倍晋三が〈日本〉を壊す』(山口二郎対談集)等がある。

9月:『21世紀の経営倫理』の全体構成等全体像を再確認する。

大学生が経営倫理の全体像に迫れる材料を提供する。個と全体(会社)の関係等。

以上